

## ドイツ革命

敗戦によって臨時政府が成立するまでは、No.170を参照せよ。

- 1) 臨時政府は【1: \_\_\_\_\_】を中心とするもので、指導者は【2: \_\_\_\_\_】。議会制民主主義の樹立をめざす一方で、軍部など旧勢力とも繋がりが深く、左派を弾圧した。  
1918年末から1919年はじめにかけて、「スパルタクス団」（1916年結成の急進的的革命組織、社会民主党最左派）を中心に共産党が結成された。
- 2) 1919年1月、【3: \_\_\_\_\_】は、ロシア十月革命にならって武力革命をめざし、【4: \_\_\_\_\_】（「スパルタクス団の蜂起」とも言う）を行った。名称はベルリン蜂起だが、蜂起はドイツ各地で行われた。社会民主党政権と軍部はこれを鎮圧し、地方のレーテ政権も平定した。  
この時の混乱に乗じて、【1】の創立者であるカール・リープクネヒトや理論的指導者で『資本論』研究者としても高名な女性革命家、【5: \_\_\_\_\_】らが軍隊によって虐殺された。
- 3) 1919年2月、【6: \_\_\_\_\_】で国民議会が招集され【7: \_\_\_\_\_】が成立してドイツ革命は終わった。同年、**ヴァイマル憲法**が制定された。これは当時、世界で最も民主的な憲法で人類史上初めて**生存権**の規定を持っていた。その精神は日本国憲法第25条に生き続けている。
- 4) 実は、旧オーストリア=ハンガリー帝国（1918.11解体）のハンガリーでも革命は起きていた。1919年、ハンガリー降伏後の混乱の中で、ロシア革命にならってハンガリーに**共産党政権**が樹立されたが、軍人政治家ホルティとルーマニア軍の攻撃により、わずか4か月で崩壊した。ハンガリーは、面積で72%、人口で64%を失い、全人口の半数ほどがハンガリーの国外に取り残された（トリアノン条約）。領土を失った反動から次第に極右勢力台頭。ホルティ 1868-1959 は、1920年以降王政を復古させ、摂政（国王は不在のまま）としての独裁体制を長期間行いナチ党に協力。1944年失脚、ポルトガルに亡命した。
- 5) ハンガリー革命の失敗・ドイツ革命の失敗は、ボリシェヴィキ政権の世界革命への期待を打ち砕いた。  
ソ連では、スターリン時代 1922-53 以降は一国社会主義論になり、1929年、世界革命に拘るトロツキーは追放された。

## 戦時共産主義から新経済政策へ

アメリカの繁栄期にロシアは・・・

- 1) ソヴィエト政権は成立(1917)直後から困難に直面した。国内各地に旧帝党派の軍人や反ボリシェヴィキ政党が反革命政権を建て、革命の拡大を恐れる協商国がこれらを援助した。のみならず、ドイツ・イギリス・フランス・オスマン帝国・中国・日本・アメリカは様々な口実で直接軍を派遣して【8: \_\_\_\_\_】（1918-22）※1を行った。これをきっかけに、白軍（反革命軍）が行動を起こした。ソヴィエト政府は、チェカ（非常委員会）によって反革命運動を取り締まる一方で、トロツキーのもとで【9: \_\_\_\_\_】を創立して反撃したが、一時は国土の大半の支配権を失うなど苦戦。国土が戦場化、生産力が極度に低下した。
- 2) ソヴィエト政権は、国内的には生産低下に対処するため、【10: \_\_\_\_\_】と言われる非常に厳しい政策をとった。**私企業は一切禁止**《頻出》、中小工場も国有化、賃金の現物支給、労働義務制、食料配給制等を実施。農民からの**穀物強制徴発**を行ったので、農民の生産意欲は一層減退し極度の食料不足を招き、多数の餓死者を出す深刻な事態を招いた。当時、政府が都市の武装した労働者を農村に送り込んで穀物を強制的に徴発したとも言われる。
- 3) ポーランドが第一次ポーランド分割以前の領土回復を目的にソヴィエト政権下のウクライナに侵攻。ソヴィエト・ポーランド戦争（1920～1921）が始まった。1920年、【11: \_\_\_\_\_】でソヴィエト政権の軍は大敗した。No.171※5 参照
- 4) こんな不利な状況でも、ソヴィエト政権は内戦と干渉戦争に勝ち抜いた。その背景には①白軍（反革命軍）が勝てば土地を奪われる農民の不安、②外国の干渉に対するロシア民衆のナショナリズムがある。ロシア人民と革命軍は、傲慢で非科学的な共産党の指導の下、粗末な武器で多大の犠牲を出しながら祖国解放のため不退転の決意で闘い続け、1921年には、国内の反革命政権をほぼ制圧し、外国軍も撤退させた※2。  
信教や思想信条の自由を認めず、共産党を批判する者はラーゲリ（矯正労働収容所）送りになるというとんでもない社会ではあったが、社会主義を掲げる巨大な国家が揺るぎない基盤を確立したことは、人類史上大きな意味を持つ。それは、資本主義とは異なる別の方向もありうることを事実を持って示し、資本主義のいきすぎや欠陥を修正するうえでも重要な役割をはたした。
- 5) レーニンが、内戦と干渉戦争の終わりが見え始めた1921年、【12: \_\_\_\_\_】（ネップ）に政策転換。共産党一党支配や銀行・大工業・貿易の国家管理は変えないが、①資本主義の部分的復活、②余剰生産物の自由販売、を認めた。穀物徴発制は廃止され、**小規模な私企業、小農の経営は認められた**。《頻出》この結果、1927年には、生産は各部門で戦前の水準を回復した。

1922年	ドイツと【13: _____】締結、国交回復。 <b>賠償請求権を放棄</b> 。 コミンテルン極東諸民族大会は《植民地での民族解放運動を支援》を決定したので、英仏など列強は神経をとがらせたが、アメリカ合衆国以外の各国と順調に国交回復、緊張緩和をはかる。「世界革命」は放棄された。 日本軍、ようやく撤退。※3 【14: _____】（ソ連）成立 ロシア、ウクライナ、白ロシア、ザカフカース（現ジョージア ※4）の4ソヴィエト共和国が連合したもの。後に、ウズベク、キルギス、トルクメン共和国などが加わり、15ヵ国で構成され、中央アジアもソヴィエト政権の支配下に入った。ロシアを除くソヴィエト政権は、中央からの軍事力によって確立されたもの。 ソ連は、ロシア帝国同様に民族問題を抱え込むこととなった。
1924年	新憲法公布。レーニン死去。イギリス、フランス、イタリアと国交回復。
1925年	日本と外交関係樹立。

## 対ソ干渉戦争と日本

- 1) 大戦景気の中で米価は上昇傾向にあった。1918年、【15: \_\_\_\_\_】を当て込んだ米の投機的買占めが行われ、米価は急騰した。7月には富山県で漁村の主婦たちが、米の安売りと買い占め反対を叫んで蜂起し、米商人・富商・地主・精米会社を襲い、警官隊と衝突した。これは越中女（女房）一揆として語り伝えられ、東京・大阪をはじめ全国38市・153町・177村に波及し、約70万人が米価引き下げ・安売りを要求して暴動を起こし、一部に軍隊も出動した。これがいわゆる【16: \_\_\_\_\_】である。責任を追及する世論の前に、寺内内閣は倒れた。1884年を頂点とする自由民権運動の高揚以来、久々の日本人の決起行動である。若い方々の中には、日本人とは、きわめて非政治的な民族で何をされても蜂起など起こしたことがないと思い込んでいる諸君もいるようだが、それは違う。この後も、普通選挙を求める大正デモクラシーの運動が高まり、衆議院の多数政党が内閣を組織するという「憲政の常道」が短期間ながら行われた。
- 2) 民衆運動の迸る強いエネルギーを目の当たりにした元老の山県有朋は、ついに政党内閣を認めざるを得ず、立憲政友会の原敬を首相とする内閣が成立した。彼は華族でも藩閥でもなく衆議院に議席を持つ政治家だったため、「平民宰相」と呼ばれ歓迎された。

※1 シベリアに派兵した例は多く、シベリア出兵と呼ばれる。日本とアメリカは反乱を起こしたチェコ軍団の救出を口実に出兵を行った。

※2 『ポーリュシカ・ポーレ』（動画と歌詞 <http://www.uta-net.com/movie/141627/>）という1934年に作曲されたロシア歌曲がある。著作権の関係で歌詞を表示できないが、歌詞の舞台は、1917年のロシア革命後4年ほど続いた国内戦争の頃。平原を疾駆する赤軍騎兵の勇姿、それを見送る農村の娘達が描かれている。「ポーリュシカ・ポーレ」の意味は「草原よ、草原」といった意味。第二次世界大戦中の1940年代前半頃に作曲された『泉のほとり』も有名なロシア歌曲。共産党のプロパガンタとしての面もあるが、軍歌ではない。愛唱していたのは本当に反革命軍やナチと闘う、あるいはそれを支えていたロシアの人々である。今は動画サイトの片隅に追いやられているが、かつてわが国でも日本語訳で実際に歌われ、労働組合運動や「うたごえ運動」と無縁な人までなんとなく知っていた。ロシアは歌の宝庫で、人々は歌とともに生きてきた。当時の歌曲は全国民を巻き込んだ戦争を色濃く反映している。

※3 日本は東部シベリアでの勢力圏拡大を企図し、アメリカ・イギリス・フランス軍の撤退後も1922年まで駐兵し、死者3000人を出したが、何ら得るところはなかった。一説によれば、日本の兵士の間に性感染症が蔓延し、野戦病院の全能力はその治療に充てられたほどだったという。これに懲りた歴代陸軍幹部の間で、兵に性病の心配のない女性を「あてがう」必要性が伝承され、1937年末以降のいわゆる従軍慰安所の設置を兵站の一部として確保する発想につながったという説もある。

※4 日本では、2015年4月まで「グルジア」と呼ばれていた。黒海の東岸に面している。

## 2011 上智大学（抜粋・改作）

- A 第一次世界大戦の長期化とともにロシアは深刻な食糧不足に陥った。1917年3月、首都（ 1 ）で、パンと平和を求める民衆による大規模なデモやストライキが起きた。ストライキは軍隊に支持され、兵士や労働者は、(17) ソヴィエトを各地で組織し、革命運動が拡大した。(18) 皇帝（ 2 ）は退位に追い込まれ、(19) ロマノフ王朝は消滅した。
- B 帝政崩壊後、( 3 )の( 4 )を中心に、(20) 臨時政府が結成され、(21) 社会革命党らもこれを支持した。他方で労働者・兵士ソヴィエトも臨時政府に並んで力を持ち続け、ロシア国内は臨時政府とソヴィエトが並存する( 5 )の状態にあった。
- C 臨時政府は( 6 )政策を採るなか、(22) ボリシェヴィキの指導者である(23) レーニンが亡命先のスイスから帰国し、( 7 )を発表した。ボリシェヴィキの勢力は強まり、1917年11月7日に武装蜂起し、臨時政府を倒し、権力を握った。(24) 全ロシア=ソヴィエト会議が開催され、新政権の成立が宣言された。
- D レーニンは、1918年1月、( 8 )を武力で閉鎖し、解散させた。ボリシェヴィキは、ロシア( 9 )と改称され、ソヴィエト体制は事実上、ボリシェヴィキの単独独裁となった。また、ソヴィエト政権はドイツとの単独講和に踏み切り、1918年3月、( 10 )条約を締結した。
- E 革命後、ソヴィエト政権に反対する( 11 )運動がロシア各地で起こった。連合国がそれを支持し、軍隊をロシア各地に派遣し、( 12 )が口実となり(25) 対ソ干渉戦争が開始された。これに対し、ソヴィエト政府は( 13 )を組織し、革命の反対者などを取り締まる( 14 )を設置した。また、工業を国有化し、農民からは食料を強制的に徴発して都市住民や兵士に配給するなど、( 15 )を実施することによって、国内の統制を図った。しかし、生産が極度に低下したため、生産意欲を刺激し国民経済回復をうながす目的で、( 16 )がレーニンにより導入された。

問1 空欄(17~25)にそれぞれ正しい語句を記せ。(原問は「正解なし」もある4選択肢方式)

問2 下線部(17~25)にそれぞれ対応する設問(17~25)に答えなさい。選択肢に正解がないときはeと記せ。

- (17) ソヴィエトとは何か。 a 評議会 b 上院 c 下院 d 共同体
- (18) ロマノフ王朝最後の皇帝が認めていないのはどれか。  
a ドゥーマ開設 b 市民的自由 c 共和国化 d 憲法定制
- (19) ロマノフ王朝が成立したのは何年か。 a 1612年 b 1613年 c 1614年 d 1615年
- (20) 臨時政府の首相になったのは誰か。 a マルトフ b トロツキー c プレハーノフ d ウィッテ
- (21) 社会革命党の前身は何か。 a メンシェヴィキ b ナロードニキ c エス=エル d カデット
- (22) ボリシェヴィキの活動方針と合致しないのはどれか。 a 漸進的改革 b 民族自決 c 武装革命 d 農民革命
- (23) レーニンと対立しメンシェヴィキを指導したのは誰か。  
a トロツキー b バクーニン c ガボン d プレハーノフ
- (24) 全ロシア=ソヴィエト会議で採択された政策はどれか。  
a 農奴制の廃止 b 土地私有権の廃止 c ミール解体 d 単独独裁
- (25) 対ソ干渉戦争において、撤退がもっとも遅れた国はどこか。  
a イギリス b フランス c アメリカ d 日本

問1 1:ベトログラード 2:ニコライ2世 3:自由主義 4:立憲民主党 5:二重権力 6:戦争を継続させる 7:四月テーゼ 8:憲法定制議会 9:共産党  
10:プレスト=リトフスク 11:反革命 12:チェコ兵捕虜救出 13:赤軍 14:チェカ 15:戦時共産主義 16:新経済政策(ネップ)

問2 17:a 18:c 19:b 20:e 21:b 22:a 23:d 24:b 25:d